

豊公民館

「ごみ集積所の不適正排出物への対応について」

- ・燃えるごみの日に収集されない不適正排出物（今回は布団）が、ごみ集積所に放置されるケースがある。現在のルールでは、一定期間放置後、誰が出したかわからなければ、町内会が処分することとなっている。区長や役員は会社員が多く、クリーンセンターへ持ち込む時間が取れない。夏場は悪臭が発生し、衛生面でも問題がある。今回のように悪臭を放つ布団などの場合、吐しゃ物・排せつ物なども含まれる可能性もあり、自らがごみの中身を確認し分別することは、感染症などのリスクもあり恐怖を覚えるし、したいことでは全くない。他自治体では一定期間後を経過しても誰が出したかわからないケースは、行政が回収する例もあるため、鯖江市でも検討してほしい。先週、環境政策課へ相談したが、「町内会が処分するルール」との回答の一辺倒で、現場の実情への考慮、区長の悩みへの共感などが全くと言っていいほど感じられなく憤りを感じた。
- ・市は、何かというと区長ハンドブックに書いてあるから、そのようにしてほしいとの対応が多いが、そのハンドブック記載の多岐にわたる区長業務の内容の説明も不十分であると思う。区長就任時に中身を十分に理解できるような機会もあるとよい。

「区長の当て職・会議開催時間について」

- ・区長の多くが会社員であり、平日日中の会議への参加が難しい。
- ・区長会長などの役職は特に負担が大きく、なり手不足の原因となっている。
- ・担当課にて全区長対象のアンケートを行い、区長の勤務実態を調査・データ化し、会議時間を見直すべき。
- ・個人的には平日夜（午後7時頃）の開催が望ましい。

「道路補修の基準について」

- ・どうなったら補修してくれるのか道路補修の基準が分かりにくい。
- ・要望を出してもなかなか対応されないケースがあった。
- ・区長としては区民からひとつひとつの道路補修などの要望を聞いてもそれを要望書にまとめて担当課にあげていくのは大変だし時間も手間もかかる。道路の危険個所の報告などは、まずは市民が直接市へ報告し、その後、住民が区長に報告し、その後、区長からの要望書を上げていく。まずは危険個所を早めに発見し対処できるようなスピード感の

ある仕組みにしてほしい。

「敬老会主催の件」

- ・先人のおかげで、今の現実がある。敬老会は大切な行事である。区長会連合会としては市との行き違いで今後は、敬老会は市が主催でやるべきと結論付けているが、やはり敬老の方々をよく知っている地区でやるべきである。市議会としての意見は。

「地区体育大会の在り方について」

- ・年々地区の体育祭を取りやめたり短縮している。町人との一番のつながりの火が消えようとしている現状についてどう考えているのか

「民生員不足の件」

- ・民生員の成りて不足は議員もよく知っているはずであるが、議会で真剣に議論しているところが全く感じない。

「ハピライン鯖江の利便性について」

- ・駅東側の駐車場にはたくさんの車が駐車できるが東側から入場できず地下道を通って西側まで来なくてはいけないのは利便性が悪い。一時東と西をつなぐ話も出たが金額が大きいのことで没となった。おかしい話である。

「防災について」

- ・豊地区女性協議会では、11月15日の市の防災訓練に向けて準備をしているが、避難場所に女性専用の場所を設けてほしい。
- ・生理用品や美容品などは避難所に揃えられないのか？
- ・子育て中の人、家族の避難部屋も必要と思う。
- ・非常袋、避難に必要なものに、生理用品なども入れたいが、防災訓練には準備できないといわれるが、公民館に避難に必要なもの見本など常設するという考えなど、いいと思うのですが、危機管理課は乗り気でない。
- ・ペットを連れての避難の場所も可能にしたい。

「交通について」

- ・つつじバスの時刻表は高齢者の行動をもとに考えてほしい。空っぽのバスが走っているようなことはしないでほしい。
- ・ハピライン鯖江駅のフリースペースは高校生たちに利用されていて、待合の場所にもなって、よかった。

「市役所の通知について」

- ・高齢者への、市からの文書でのお便りなど、書いてある内容も難しいが、文章も行政的で、わかりづらい。92歳のおひとり暮らしだと「また、お金とられるんか、意味が分からない」と難しすぎる内容に、困られている。近所の方で、相談に見えれば力になっているが、70代後半の自分でもわかりづらい市からの文章、だと思う。
- ・市役所に聞ける人には、文中に、相談窓口の文字くらいは大きくしてほしい。ソフト面での配慮が必要と思う。
- ・役所的な文書が理解できず、15,000円がいただけるのも、申請していなかった。